

西蒲 区

豊かな自然, 歴史と文化のかおりに満ちあふれ,
人と人があたたかくつながるまち

写真①

写真②

区の特徴

西蒲区は海・山・平野に抱かれた自然豊かな環境にあり、四季折々の魅力にあふれたエリアです。広大な越後平野には手入れの行き届いた水田や畑が広がり、稲作を中心に、園芸作物の生産も盛んです。

また、いにしえより人々の暮らしが連綿と続く歴史・文化と観光のまちでもあり、北国街道の湯治場として栄えてきた岩室温泉の他、名所、史跡も数多くあります。

区の概要

① 地理

本市の南西部に位置し、南区、西区及び長岡市、燕市、弥彦村と隣接しており、面積は市内8区の中で最大です。

区の内陸部は広大な優良農地があり、信濃川の分流である西川と中ノ口川が流れています。

沿岸部は日本海に面し風光明媚な越後七浦海岸と角田山、多宝山、上堰瀧を有しており、その周辺は佐渡弥彦米山国定公園に指定されています。

② 産業

農業就業人口・経営耕地面積ともに、8区中一番多く、広大な農地では、稲作を中心に、柿・いちじくをはじめとする果樹や、すいか・ながいもなど多様な園芸作物の生産が盛んです。

また、農家レストランや農産物・ワイン等の直売所など6次産業化*の取り組みにより、周辺観光産業との相乗効果が生まれ、賑わいをもたらしています。

さらに、交通アクセスに恵まれた製造・物流拠点である漆山企業団地のほか、11の工業団地を有しており、特色のある企業が事業を展開しています。

恵まれた自然環境や歴史文化資源を活かした観光も重要な産業であり、なかでも北国街道の湯治場で、開湯から300年を超える歴史ある岩室温泉は、本市唯一の温泉街として県内外から多くの観光客が訪れています。

写真

③ 交通

主要な道路は、区の中央部に地域の社会・経済活動を支える国道116号が、海岸線には奇岩織り成す景勝が楽しめる越後七浦シーサイドライン(国道402号)がそれぞれ南北方向に通じ、それらを結ぶ国道460号が東西方向に通っています。

区外とつながる幹線交通は、区の中央部を南北に縦断するJR越後線と、東部を縦断し多数の高速乗合バスが走る北陸自動車道があり、交通結節点*として巻駅・越後曾根駅・岩室駅の3駅と、大規模駐車場を備える巻瀧東インターチェンジが重要な役割を果たしています。

また、区内の移動を担う交通として、各交通結節点に接続する路線バスが運行されています。

*6次産業化…………… 農林漁業者(1次産業従事者)が原材料供給者としてだけでなく、「地域資源」(農林水産物、バイオマス、自然エネルギーなど)を有効活用し、加工(2次産業)、流通(3次産業)に取り組み経営の多角化を進め、農山漁村の雇用確保や所得の向上を目指すこと。

*交通結節点…………… 交通手段相互の接続にあたり、安全で快適な乗り換え環境を有する施設をいう。具体的には、鉄道駅、バスターミナル、駅前広場など。

区の将来像

豊かな自然、歴史と文化のかおりに満ちあふれ、
人と人とがあたたくつながるまち

目指す区のすがた

魅力あふれる農水産物を供給するまち

- 「田園の恵みを感じながら心豊かに暮らせる日本海拠点都市」にふさわしい広大な優良農地や、2つの漁港を備える立地を活かし、高品質で多様な「西蒲ブランド」の農水産物の供給拠点となるまちを目指します。
- 生産者と消費者の交流を深める農業体験や、生産から加工、販売まで手がける6次産業化の推進により農業・水産業の魅力を伝えるとともに、力強い農業生産基盤等の整備・保全することで、将来の担い手が育つまちを目指します。

観光とスポーツ・レクリエーションのまち

- 越後七浦海岸、角田山、多宝山、上堰湯等の豊かな自然環境や北国街道をはじめとした歴史文化などの観光資源と岩室温泉をエリア全体で結び、地域一体となって多様な楽しみ方ができる観光拠点となるまちを目指します。
- 自然環境や観光資源を活かし、スポーツ・レクリエーションの普及・推進を図ることで、誰もが楽しく暮らすことのできるまちを目指します。

写真

写真

*レクリエーション … 仕事・勉強などの肉体的・精神的疲労をいやし、元気を回復するために休養をとったり娯楽を行ったりすること。

区ビジョン基本方針

歴史と文化が生き続けるまち

- 遺跡や北国街道など、数多く残る歴史文化資源の保全と語り部を育みながら、いにしえからこの地に連綿と続く人々の営みと歩みを伝え続けます。
- 文化施設を拠点として、地域の文化活動やまつり開催を支援しながら、古くから伝わる郷土玩具の「鯛車」、「のぞきからくり」、「越後傘ぼこ」など西蒲区の誇る文化を内外に積極的に発信するとともに、次代に継承するための人材育成に取り組み、後世まで伝え続けます。

人が行き交い、にぎわいと活力があふれるまち

- 地域の実情に合った公共交通体系を深化させ、誰もが移動しやすく安全な交通環境を整えることで地域の交流促進を図り、人が行き交うにぎわいのあるまちを目指します。
- 高速交通アクセスに恵まれた立地条件を活かした製造・物流業の活性化や、商工業のさらなる振興により雇用創出を図ることで、活力あふれるまちを目指します。
- 交流人口の拡大や関係人口*づくりを進め、地域内外の行き来を活性化させるとともに、定住人口確保を図ることで、持続可能なまちづくりを目指します。

写真

人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち

- 地域ぐるみで支え合う人の和をはぐくみ、だれもが笑顔で暮らし続けられるように、安心・安全で快適な生活基盤をつくり、あたたかみあふれるまちを目指します。
- 地域のだれもが次代を担う子どもたちの成長を支え、学び合いを通じて人と人とのつながりが生まれ、広がるまちを目指します。
- 健康づくりに対する意識啓発により健康寿命の延伸を図るとともに、子どもから高齢者、障がい者まで、誰もが地域の中で生き生きと暮らすことのできるまちを目指します。
- 地域課題の解決に向け、区自治協議会*や地域コミュニティ協議会*、自治会など、住民自治を担うあらゆる主体が連携を深め、一人ひとりに寄り添う、区民が主役のまちを目指します。

写真

写真

- *関係人口 … 地域内にルーツのある者や、過去の勤務や滞在等の何らかの関わりがある者など地域と多様に関わる人々。
- *区自治協議会 … 区民等と市をつなぐ「協働の要」として、区民に身近なまちづくりや地域課題を解決するため、平成19年度に各区に設置された市長の附属機関。
- *地域コミュニティ協議会 … 市民と市が協働して地域のまちづくりや、その他の諸課題に取り組み、市民自治の推進を図るため、概ね小学校区を基本単位として、自治会・町内会を中心にさまざまな団体等で構成された組織。